

河川の水質検査結果について

町では、河川等の汚濁状況を把握するため、町内 6 地点において、水の pH・BOD・大腸菌群数等の生活環境項目の調査を毎年 1 回実施しております。河川の水質には環境基本法第 16 条による公共用水域の水質汚濁に係る環境基準が定められており、本町においても調査結果を環境基準と比較して評価しています。なお、今回の調査では観測した地点すべてで環境保全の基準を満たしていました。

(R7. 2. 20実施)

項目名	単位	向野橋	本宿川端	本宿 5	八間川	大貫	F&A金属工業(株)付近	基準値 (E項目)
pH(水素イオン濃度)	—	7.7 (21.3℃)	7.3 (21.2℃)	7.8 (21.0℃)	7.8 (20.9℃)	7.7 (20.8℃)	7.6 (21.2℃)	6.0～8.5
BOD(生物化学的酸素要求量)	mg/L	2.2	10	5	3.5	1.1	6.6	10以下
SS(浮遊物質質量)	mg/L	8	5	6	8	2	5以下	ごみ等の浮遊が無い事
DO(溶存酸素量)	mg/L	13	4.6	12	11	11		2以上
大腸菌数	CFU/100mL	200	3700	9600	740	32		—
鉛及びその化合物	mg/L						0.01以下	0.01以下
PFOS及びPFOA	ng/L	4.7	6.7	5.1	4.9	5	8	50以下(暫定目標値)

(検査項目説明)

項目名	解説
pH (水素イオン濃度)	水素イオン濃度を示す指数で、pH7が中性で、これが7よりも小さくなれば酸性が強くなり、大きくなればアルカリ性が強くなります。
BOD (生物化学的酸素要量)	水の汚濁の程度を示すもので、有機物が微生物によって酸化される際に必要な酸素量をいいます。数値が大きくなるほどより汚れていることになります。
SS (浮遊物質質量)	水中にある不溶性物質の量です。
DO (溶存酸素)	水中に溶けて存在している酸素量を示します。溶存酸素が不足すると、水は嫌気性状態となり、嫌気性細菌により硫化水素、メタン等が発生し、悪臭の原因となることがあります。
大腸菌数	大腸菌を培地で培養し、発育したコロニー数を数えることで算出され、水のふん便汚染の指標として使われる数値です。ヒトや混血動物の腸管内に常在し、ふん便由来でない細菌も含む大腸菌群数と比べてふん便汚染の指標として信頼できるものです。
鉛及びその化合物	体内に蓄積されると神経系に障害を与える可能性が指摘されています。
PFOS及びPFOA	発がん性があると報告されていますが、どの程度の量が体に入ると影響が出るのかについてはまだ十分な知見がありません。

特定創業等支援事業

無料・創業プラン作成スクールを開催します

千葉県内で創業を予定している方や創業して間もない事業者を対象として経営の基礎となる創業スクールを実施します。受講を希望される方は、千葉県信用保証協会のウェブサイトより申込み下さい。

- 募 集 5月30日(金)～6月13日(金) 正午まで
- 開催日 7月12日(土)、19日(土)、26日(土)、8月2日(土) 計4日間
- 参加費 無料
- 定 員 30名
- 場 所 幕張テクノガーデン会議室
- ▶問合せ 千葉県信用保証協会 創業サポートチーム ☎043-239-3281
神崎町商工会 ☎☎2 5 4 8